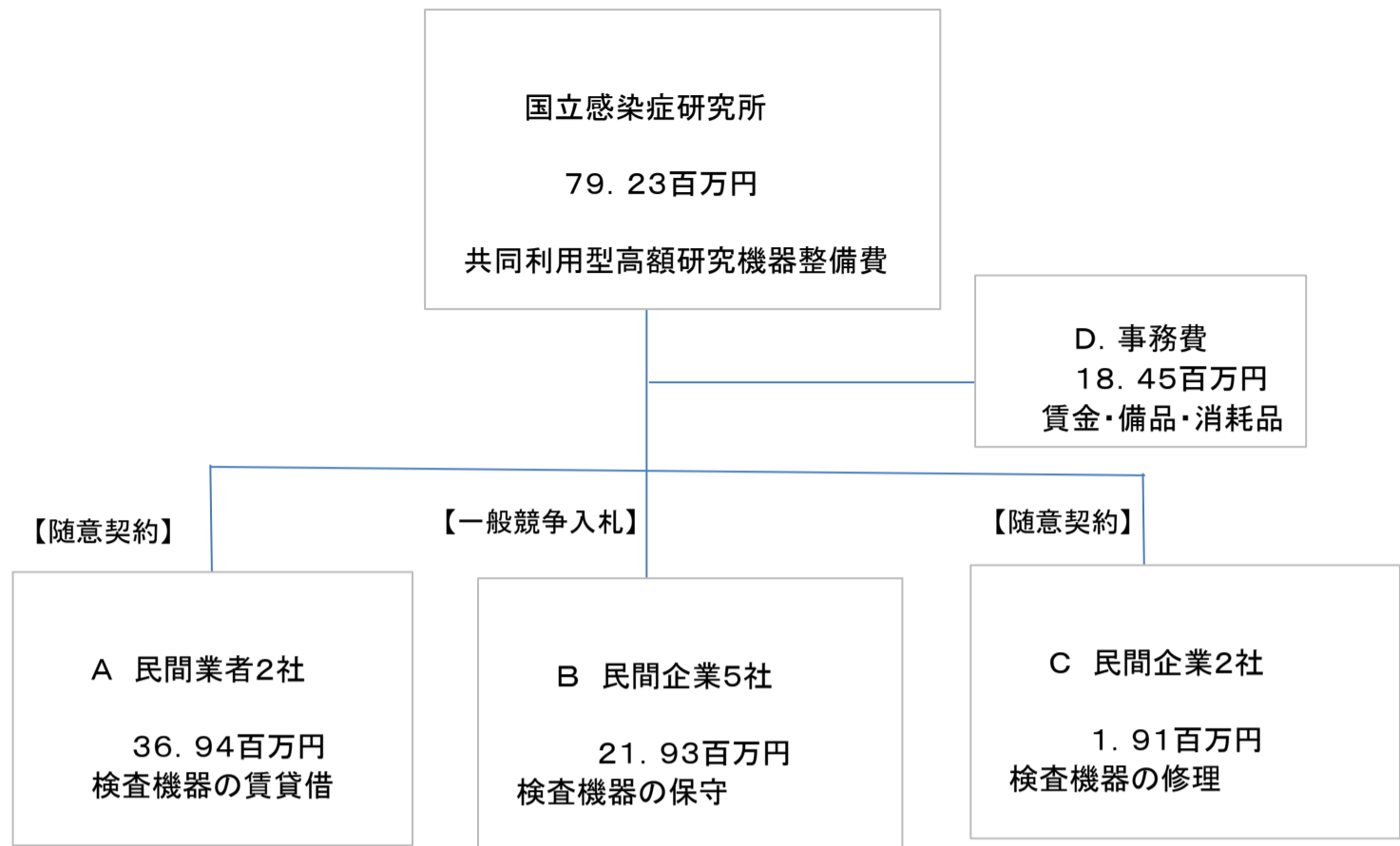


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	共同利用型高額研究機器整備費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真			
会計区分	一般会計	施策名	IV 3 4				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当所の事業やその他研究機関との共同利用を通して実験の効率化と科学技術推進を図る						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当所の共同利用型高額機器として、細胞自動解析分離装置及び超高分解能走査電子顕微鏡を整備						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	80	80	79	79	79
		補正予算					
		繰越し等					
		計	80	80	79	79	79
		執行額	80	80	79		
	執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	設備機器の管理運用のための経費であり、定量的な指標は示せない。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	23年度活動見込
	細胞解析、電顕合計使用回数が1025件 (77,073円/回)	活動実績 (当初見込み)		細胞所内541回 所外281回 電顕140検体	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件	細胞所内553回 所外 245回 電顕227検体	-
				-	細胞所内541回 所外281回 電顕140検体	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件	細胞所内 553 回 所外 245 回 電顕227 検体
単位当たりコスト	(77,073円/回)	算出根拠	細胞解析、電顕合計使用回数が1025件 予算額7900万円/1025=77,073円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	機器借料	50	50				
	機器保守料	25	25				
	消耗品費	0	0				
	賃金	4	4				
	計	79	79				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一部の随意契約を除き、会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	少額の契約であっても複数社から見積を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	感染症における唯一の国立試験研究所として質の高い業務を行っている。リース機器の切り替え時には再リースを含め検討し、費用対効果を最大化するよう考慮する。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	整備している共同利用機器については使用率も高く、十分に活用されている。
点検結果	支出は5年リースの機器代と機器保守料、機器のオペレータの非常勤職員給与、および関連消耗品費からなっており、機器リース料は契約初年度に一般競争入札により業者の選定を行っている。機器の保守料についても同様に一般競争に付している。機器のリース料については、リース期間中の見直しの余地は乏しいが、機器の切り替え時期には機器の必要性の観点から再リースも含め費用対効果を最大化するよう検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、感染症対策の推進に係る調査研究の遂行に必要な経費であるが、執行状況等検証のうえ、適切な予算措置とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	共同利用型高額研究機器整備費について、手段の有効性や効率性の検証の観点から、コスト面で経費を見直したことによる削減		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	626	平成23年行政事業レビュー	567

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)日立キャピタル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	検査機器(電子顕微鏡等)の賃貸借	37			
計		37	計		0
B.(株)池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	検査機器の保守	11			
計		11	計		0
C.(株)池田理化			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	電子顕微鏡修理	1			
計		1	計		0
D.非常勤職員A			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	賃金	4			
計		4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立キャピタル	検査機器(電子顕微鏡等)の賃貸借(H20.10~H24.9複数年契約)	32.6	随意契約	
2	(株)日立キャピタル	細胞自動解析分離装置借料	4.34	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	自動細胞解析分離装置保守	10.98	1	100
2	(株)日立ハイテクフィールドディング	顕微鏡保守	5.34	1	100
3	(株)池田理化	デスクトップセルソーター	2.21	1	100
4	(株)和科盛商会	共焦点顕微鏡保守	2.03	1	100
5	(株)池田理化	顕微鏡保守	1.37	1	100
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	電子顕微鏡修理	1	随意契約	
2	(株)池田理化	顕微鏡修理	0.91	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	賃金	4.25		
2	非常勤職員B	賃金	3.29		
3	(株)豊島製作所	ポリスチレンラウンドチューブ購入	0.53	随意契約	
4	理科研(株)	Facs Flow(研究用試薬)購入	0.5	随意契約	
5	(株)池田理化	フィルターアセンブリ	0.38	随意契約	
6	(株)豊島製作所	Facs Calibure(研究用機器)点検	0.34	随意契約	
7	(株)豊島製作所	純水・超純水装置カートリッジ交換	0.3	随意契約	
8	(株)ロクス	実体顕微鏡購入	0.26	随意契約	
9	岩井化学薬品(株)	Alexa Fluor(研究用試薬)購入	0.26	随意契約	
10	(株)豊島製作所	ポリスチレンラウンドチューブ購入	0.25	随意契約	